

柳瀬川流域河川整備計画（変更原案）へのご意見等について

(洪水対策について)

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
1	近年の台風や集中豪雨の際には川の水位が地表ギリギリまで上がっている。安心して生活できるような川の工事を早く進めていただきたい。	
2	柳瀬川のほとりに住んでいます。我が家が隣接している流域も何回か溢水の恐れがありました。近隣のよもぎ橋付近は、河道が湾曲していることもあり、ここ 10 年の間にも何度か床上浸水が発生し、新築の住宅のフローリングが全滅したり、新車が使えなくなったり、高齢者宅の庭がすべて砂で覆われてしまったりして、大変な状況になりました。お住まいの方は高齢者の独居も多く、一日も早く安心して住めるように整備を進めていただきたく、よろしくをお願いします。	可能な限り早期着手に向けて取り組んでまいります。
3	昨今の豪雨災害の激甚化・頻発化の観点から、計画降雨を時間 65 ミリとすることは妥当なのか。（より高い水準を目指すべきではないのか。）	「東京都内の中小河川における今後の整備のあり方について最終報告書」（平成 24 年 11 月中小河川における今後の整備のあり方検討委員会）において、下記 8 項目の検討を行ない、目標整備水準を設定しております。
4	p.22 第 2 節洪水による災害の防止又は軽減に関する事項 年超過確率 1/20(1 時間あたり 65mm 規模)と書いてありますが、根拠をお示し願います。 柳瀬川・空堀川に一番近い気象庁の観測点所沢では 1976 年からの観測データがありますが、1992 年 75mm/h、2020 年 67.5mm/h、2016 年 76.5mm/h が観測されています。また、1985 年と 2007 年には、61mm/h が観測されています。1970 年代、1980 年代には無かったのですが、1990 年代からでは 3 回あり、今後の気候変動を考えると、今後 30 年間の計画としては、超過確率が 1/20 と言えるか疑問です。	①新たな基準点と計画降雨の設定 ②整備手法の基本的な考え方整理 ③降雨状況等から見た目標整備水準の検討範囲の設定 ④整備効果から見た検討 ⑤整備期間から見た検討 ⑥費用対効果から見た検討 ⑦超過洪水時の減災効果から見た検討 ⑧実績降雨の溢水解消効果から見た検討 ④～⑧の各評価結果を踏まえ、総合的に今後の整備水準を評価し、年超過確率 1/20（多摩部河川では 1 時間あたり 65mm）

		<p>降雨の整備水準に引き上げを行うことが望ましいという提言を得ました。</p> <p>その後、委員会の提言を受けて都が策定した「中小河川における都の整備方針～今後の治水対策～」においても、年超過確率 1/20（多摩部河川では時間最大 65mm）規模の降雨に目標整備水準を引き上げることとしました。</p>
--	--	---

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
5	計画降雨の決定に際して、気候変動を考慮しているのか。していないのであれば、考慮すべきではないのか。	計画降雨の決定に際しては、「中小河川における都の整備方針」で示している年超過確率 1/20 規模の降雨としております。気候変動など自然状況や社会状況の変化等に対しては、計画対象期間内であっても必要に応じて改定していきます。
6	計画降雨を時間 65 ミリへと変更しているが、新河岸川流域整備計画との整合性は図られているのか。	新河岸川との合流点での流量を合わせることで整合を図っております。
7	柳瀬川の埼玉県施行区間及び東京都施行区間の埼玉県の流域などは時間 65 ミリ対応となるのか。 (流量配分を検討する際、埼玉県施行区間及び東京都施行区間の埼玉県の流域をどのように扱っているのか)	都県で施行協定を結び整備を分担しており、東京都施行区間では時間 65mm 対応となります。 また東京都内については、豪雨対策基本方針における対策強化流域に位置づけられ、流域対策等を進めてまいります。
8	埼玉県施行区間の東京都エリアについても時間 65 ミリの降雨対応となるのか。	
9	柳瀬川のよもぎ橋下流の埼玉県区間はいつ整備が行われるのか。埼玉県区間が整備されない限り、よもぎ橋上流の東京都施工区間は整備しないのか。	河道整備については、原則、下流から上流に向かい整備を進めており、よもぎ橋下流の埼玉県施行区間については、早期整備の要望・協議を行ってまいります。
10	よもぎ橋付近における豪雨被害は過去繰り返されており、対応強化を迅速に行っていただきたい。そのためにも柳瀬橋から西武新宿線区間の調整池の着工を早期にお願いしたい。 豪雨の際、よもぎ橋よりやや上流にある沢の堀（通称）から柳瀬川へ流れ込む水量が増加し、合流地点では柳瀬川上流からの流れを止めるかのごとく逆流・滞留する。そのため付近は更に水位が上昇してしまい被害も大きくなる。 調整池以外にも対策があれば行っていただきたい。	よもぎ橋上流の東京都施行区間については、早期に安全性を向上させるため、先行して調整池を整備する等の検討を行ってまいります。 調整池以外の対策としてまちづくりと連携した流域対策も重要です。各市や市民と連携して雨水流出抑制施設の整備等、総合的な治水対策を推進していきます。
11	空堀川の調整池の整備は、暫定調整池を活用した方策を取るのか。	河道内にある暫定調整池については、護岸整備に合わせて調整池機能を廃止してまいります。

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
1 2	奈良橋川では分水路を整備するとある一方で、調節池の容量が記載されているが、分水路と調節池の両方を整備するのか。	調節池と分水路の機能を併せ持つ施設として、洪水の一部を取水し、貯留させた後に下流にバイパスする構造として整備してまいります。
1 3	P33（5）表-1 お尋ねです 2022年3月清瀬橋付近の柳瀬川廃河川跡地が公園に整備完了。貯留機能を持たせています。1,800平方のうち最大何立方くらい貯留できるのでしょうか。洪水時それなりの役割が果たせたら、これから上・下流小規模でも貯留池を作れるところを流域連絡会の作業として見つけていけたらと思います。	当該箇所について、治水計画上の位置づけはありません。 いただいたご意見は洪水対策についての貴重なご意見として参考にさせていただきます。

(河川の利用・維持について)

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
14	<p>川底に大きなコンクリートの塊や太い鉄の棒などが、あちこちに見られることです。</p> <p>先年、しゅんせつしてくださった折に、だいぶきれいになりましたが、恩多町から本町にかけて、まだ目立ちます。</p> <p>ふだんほとんど水のない空堀川ですから、よけい気になります。増水した際、流れを妨げることにならないのでしょうか。</p>	<p>河道保全、流下阻害を防ぐために適正に管理してまいります。</p>
15	<p>河川敷の草刈りのあと、刈った草を全部回収していかないことです。</p> <p>業者さんは大きな機械と肩からかける草刈り機とで、年に2～3回、きれいに草を刈って下さるのですが、その刈った草が残ったままになっています。</p> <p>もちろんある程度はシートに載せて運び出して下さるのですが、河川敷に残ったままのものも多いです。</p> <p>それが、雨で増水すると流されて、河川敷の立ち木の根元にたくさん引っかかり、さらなる増水のもとだと思えます。</p>	<p>いただいたご意見は、河川維持に関する貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>
16	<p>川沿いを歩きたいので通路の整備をお願いします。</p>	<p>河川沿いには河川管理用通路を設けることを基本としており、整備にあたっては、管理上支障のない範囲で、平常時の遊歩道のような利用が出来る機能を持たせた整備を行ってまいります。</p>
17	<p>私たち市民が柳瀬川でくつろぐ時に注意しなければならない事がありましたら市のホームページに載せるようご指導お願いいたします</p> <p>参考資料</p> <p>1 2月6日子供だけ5~6人で焚火をしていた。直火焚きを見て育っているから罪悪感はない</p> <p>2 同日大人がテントを張ってバーベキューをしていた。写真は翌日月曜に撮影（年末年始に数日間テントを張って宿泊している例もある）</p>	<p>直火によるバーベキュー等は禁止しております。</p> <p>いただいたご意見は、河川管理に関する貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>

	<p>3 市のホームページにバーベキュー場としての注意事項がない</p> <p>4 市の基本方針書ではバーベキュー場と認めている</p> <p>5 府中市のホームページ</p> <p>6 狛江市のホームページ</p>	
--	--	--

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
18	<p>よもぎ橋付近の護岸修復工事を早急に行っていたきたい。</p> <p>劣化が著しく亀裂、陥没等が各所に見られる。豪雨によって水流が強まり護岸をえぐり取られることになれば家屋が崩れ流される恐れがある。</p>	<p>東京都管理河川においては、年1回の目視点検を実施しております。緊急に補修が必要と判断した場合は補修工事を行ってまいります。</p>
19	<p>（洪水による災害の発生の防止又は軽減に関する事項）</p> <p>（2）洪水発生により河道内に堆積した土砂は、適正に浚渫等を行う。</p> <p>現在の空堀川は、洪水時の流速が推定3m/s程度になっており、流速が早いため河床の礫が下流に流出して中央部が計画河床よりかなり低くなっています。また、その土砂が浄水橋などの橋梁部に堆積して桁下で必要な川積が不足しています。また、柳瀬川下流の埼玉県では毎年多量の土砂の浚渫を行っていますが、それが減少します。</p> <p>対策として、約100mおきに蛇籠を設置して、河床の低下を防止することを提案します。</p> <p>これにより、河床の低下が防げ、桁下空間が確保できます。空堀川は勾配が1/200程度ですので、100mおき程度に設置する必要があると考えます。</p>	<p>いただいたご意見は、河川維持に関する貴重なご意見として、参考とさせていただきます。</p>
20	<p>p.12 第2章河川の適正な利用及び正常な機能の維持に関する事項</p> <p>（水量）</p> <p>「昭和60年代から下水道が整備されて、瀬切れが顕著化した。」と書いてあります。それも一因ですが、背切れが顕著化したのは平成20年ころからです。平成9年には流域4市とも下水道整備率が90%を超えています。P.14 図2-3 今から、10年程ほど前までは東村山市久米川橋、からぼり広場、馬頭橋あたりでは水があり、毎日釣り人が釣りをしておりました。そのころに行われていたのは、東大和市との境にあった調節池の埋</p>	<p>瀬切れは複数の要因が考えられますが、そのうち下水道整備との関係を示しております。</p>

	<p>め立て、旧川の埋め立て、東大和市内の河川改修で蛇行していた川を直線化し今まで台地であったところに空堀川を移したため河床から水が漏水したのが大きな原因だと考えます。</p>	
--	--	--

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
2 1	p.18 ゆりのき広場の位置 からぼり広場の向かい左岸です。	ご指摘のとおり修正いたしました。
2 2	p.26 空堀川「川まつり」の実行委員会は、NPO 法人 空堀川に清流を取り戻す会、東京都、東村山市、地元自治会等により構成されています。市民だけではなく、行政も参加していることを明記してください。	主催の団体を記載しております。
2 3	空堀川の流量確保 P12 水量 平成 11 年、四市流域連絡会が北多摩北部建設事務所によって立ち上げられた時から最大の課題として「空堀川の流量確保」が話し合われてきました。JR の地下余水を調べたり、武蔵水路からの隅田川に流されていた環境用水を空堀川にまわしてほしい、また利根川からの生活用水を東村山浄水場から、渇水期の時だけでも 1 日 1 万トン空堀川に等、都庁に幾度も願い出ました。また地元市議会にも請願、その都度可決され市行政・市議会としても願い出ていますが、実現されていません。河床も 30 cm 下に粘性の土壌貼りつけの努力もまだ成果が見られません。 生活用水は最重要です、必要の場所への環境用水もまた同様に必要かと思えます。 上水道課、河川課どちらも管理をしているのは東京都です。一つの方法として、話し合っただけかもしれません。いずれにしても、予算のかかることでもあり、都行政が真剣に立ち向かっていただかない限り、整備計画の中の絵にかいた餅の 1 つになってしまいます。整備計画の中に具体案をお示しください。	空堀川については、全区間において浸透対策の実施を検討してまいります。引き続き、効果を確認しながら対策を行ってまいります。 いただいたご意見は河川環境及び河川維持についての貴重なご意見として参考とさせていただきます。
2 4	p.27 (iii)水量の確保 浸透しやすい、著しい区間においては不浸透材による河床ばりなど・・・	

空堀川は、河床が武蔵野礫層となっており、どこでも浸透が著しいです。全区間対策が必要だと考えます。

また、東大和市内で試験的に 200m ほど粘土ばりをされましたが、中央部のみであったためみおす筋が蛇行し水が粘土層のある中央部でなく端を流れて、全く効果がありませんでした。また、粘土の保護層がなく流水と流れてくる土砂により数年で無くなっています。粘土層の上に保護用の碎石などが必要です。P.31 図 4-5 に不浸透材の図がありますが、これでは、不十分で効果ができません。

また、水量確保の方法として、本質的にはこの地域に降った雨を地下水にしてゆっくり川に流出するようにすることが重要です。浸透柵の普及を、水循環の正常化のため都条例の制定など他の部局・関連市と共同して強力に支援していただきたいと考えます。

以上の施策を実施し効果が出るまでは、過去の事例から見て数十年の時間がかかると思います。当面の対策として、外水の導入もやむを得ないと考えます。その候補として、芋窪街道玉川上水駅付近の玉川上水、府中街道九道の辻の野火止用水から、都道の既設の雨水管を通して自然流下で空堀川に引き込むのが初期費用・ランニングコストを考慮して現実的と考えます。降雨の際には停止するようにすることは、技術的に容易です。これは、瀬切れが解消した時期には、停止すればいいです。

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
25	<p>p.32 3) 奈良橋川<めだかがすむ小川へ></p> <p>奈良橋川については、近年平水時の水量が減っており、高木橋の合流部では奈良橋川からの水が無いときが増えています。この原因は色々考えられますが、ひとつには、源流付近の番太池・赤坂池の手入れをしていないためへドロがたまり、貯留容量が減っていると考えられます。現在、赤坂池は干上がった状態です。武蔵村山市・市民と協働してイベントとしてかいぼりを行い、容量の復活を図っていただきたいです。現在は、両方共、武蔵村山市の管理になっています。以前は、この下流には田んぼがあり、農家がかりぼりをしていたと考えられますが、今は宅地になりそれをする人がいません。</p>	<p>いただいたご意見は、施設管理者である武蔵村山市に伝達させていただきます。</p>

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
26	<p>柳瀬川の沿川は天然河岸や河畔林が残っているなど自然環境が豊かであり、加えて、桜並木が美しいエリアがある一方で、住宅地等を流れる区間もあるなど、都内の他河川とは異なる多様な特徴を有している。このため、これらに最大限に配慮し、また、地域住民の意見を最大限に尊重しながら、柳瀬川の特性を踏まえた魅力的な河川整備を進めて頂きたい。</p>	<p>整備にあたっては、良好な河川環境の保全や再生に努めてまいります。</p> <p>いただいたご意見は、河川整備に関する貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
27	<p>調節池（遊水地）の設置 p.31 (ii)空堀川上流ブロック（西武多摩湖線～薬師橋上流）</p> <p>この区間には旧川があり、ここを調節池又は遊水地として活用すれば、洪水時の対策になり、溜まった水をオリフィスによりゆっくり排出すれば平常の水量確保につながります。また、埋め立ててしまった清水富士見緑地を遊水地（ビオトープ）にすれば、平常は市民の憩いの場として、洪水時には貯留の機能を持たせられます。この提案は、2013年にしておりますが、河川改修すれば調節池は必要ないと埋め立てられてしまいました。※これから工事をする芝中調節池も単に現在の調節池を廃止するのではなく、遊水地としてビオトープ化すれば金山調節池のように市民の憩いの場になり洪水対策にもなります。金山調節池は、北多摩の野鳥の聖地と言われております。芝中調節池跡については、柳瀬川・空堀川流域連絡会第6期で提案しておりますが、その後何の回答もありません。是非、検討・実施をお願いします。資料を添付します。</p>	<p>旧川の利用形態につきましては、地元市等と協議・調整の上、決定してまいります。</p> <p>芝中暫定調節池の跡地につきましても、地元市等と協議し検討しております。</p> <p>いただいたご意見は河川整備に関する貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>
28	<p>p.33 (4) 調節池等の整備</p> <p>表4-1の調節池を整備するということですが、どのあたりにどのような形式の調節池等の整備を考えておられるか明確にさせていただきたいです。ビオトープ的な機能も欲しいです。</p>	<p>調節池の設置場所及び構造形式等は、敷地面積や必要な調節容量、上部利用等の条件を勘案して決定して参ります。</p>

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
29	<p>(3)河川敷内の草木については、河道を保全し、流下阻害を防ぐため適正に管理する。</p> <p>数年前に、空堀川の河川敷内の木の大部分を伐採・伐根しましたが、これらの木が流下を阻害していたということは見られませんでした。これらの木は、カワセミ等の鳥類のとまり木、日陰を作ることによる水温の低下、昆虫等の生息場所として重要です。毎年6月に水質調査を行っておりますが、水温が気温より高いことの多いです。可能な限り、残すようにしてください。</p>	<p>河川敷内の草木については、流下阻害を防ぐために適正に管理してまいります。</p> <p>いただいたご意見は、河川維持に関する貴重なご意見として、参考とさせていただきます。</p>
30	<p>『いっぽんばし緑地（河畔林）の保全をお願いします』</p> <p>いっぽんばし緑地は、東村山市内の秋津橋のたもとに永く根付く河畔林です。</p> <p>緑地内で野鳥等の多くの命が育まれているのももちろんのこと、隣接する柳瀬川にはサギやカワセミが飛来する貴重かつ希少な緑地となっております。</p> <p>もはや消えつつある武蔵野の面影を今に伝え、詩人の草野心平氏のゆかりの地にあることから、文化、歴史的にも存在意義のある緑地です。</p> <p>木々が大地にしっかりと根を張り、豪雨の際には遊水池の役割も担っています。</p> <p>柳瀬川が渡れなくなると東村山市内の避難所に行けない柳瀬川北側の住民にとっては臨時の避難所、また地震や延焼火災における被害拡大の防止にも大きな効果を発揮するオープンスペースです。</p> <p>防災安全面でも重要な緑地になっておりますので河川整備の際には保全して頂きたく、お願い申し上げます。</p>	<p>いただいたご意見は、河川環境に関する貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
31	<p>シラサギが飛来する美しい川ですので、自然の景観を生かしていただきながら、整備が進むまでは、浚渫や周辺の住宅が守られるように擁壁をあ</p>	

	<p>げるなどの臨時的措置もお願いできるとありがたいです。豪雨対策強化流域に指定されて安堵しています。</p> <p>なお、最も被害が大きかった土地が売り払われて、建売住宅が建ち、売り出されています。こうした被害のあった場所は、できれば公有地化を検討していただき、これまでの経緯を知らない人が人生をかけて住宅購入をするようなことがないように、法整備をお願いしたいです。</p>	
32	<p>私は東村山市恩多町に住んでいますが、「いっぽんばし緑地」があることは知っていました。そこは昔から地域で親しまれてきた場所です。ちいさな緑地ですが、この場所を緑地として整備し、ベンチを置いてください。芝生など植えないでそのままの自然を残してください。</p> <p>「緑地」の柳瀬川をはさんだ向こう岸にはほんの少しの地面にベンチが置かれテーブルがあります。それをみただけでほんのりとあたたかい心持になります。まるでどうぞいつでも座って休んでくださいと言われているようです。</p> <p>地域のなかに「いっぽんばし緑地」のような場があるかどうかは、そこで暮らす私たちにとって大変大切なことです。</p> <p>「いっぽんばし緑地」のような場があちこちにあると、どんなに暮らしやすいでしょう。鉄棒やぶらんこが設置された公園ではなく、自然のままの憩いの場は、子どももお年寄りも障がい者も若者も親子連れも、さまざまな私たちが出会い交流できる場となるでしょう。</p> <p>どうぞ「いっぽんばし緑地」の保存は、治水や利水のためだけではないことを知っていただきたいと思います。そして税金はそのようなことのために使っていただきたいと思います。</p>	

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
3 3	<p>p.17 確認種 空堀川の植物で、ヤマグワ、外来種のセイバンモロコシが抜けています。両者とも、空堀川で一番優勢な植物です。</p>	<p>注釈に記載のとおり、植物については重要種と特定外来種のみを記載しております。</p>
3 4	<p>自然環境の整備テーマ 清瀬市のように河床勾配がきついと 100m ほどの間隔でいくつもの落差工が必要になります。流水が少ないだけに、滯筋を立て魚の遡上に配慮が必要です。下記のような文言を追加賜りたくお願い申し上げます。 「豊かな自然環境の創出を図る」 “川の生き物や植物にとって豊かな自然環境を創出するため、人工的な構造物（ブロック等）使用の場合は出来るだけ深く埋め表出しないよう配慮をし、落差工の上・下に生き物を守ることのできる計算されたウオータープールを設置して、豊かな多様性を創出する。また完成後は河川管理者と市民団体、時にはアドバイザーと共に検証をして、次年度の工事につなげる。</p>	<p>河道内の構造物の設置は必要最小限に止めるとともに、流水の連続性確保に努めてまいります。 いただいたご意見は河川環境についての貴重なご意見として参考とさせていただきます。</p>
3 5	<p>P26 (3) 河川環境の整備と保全に関する事項 1) 自然環境 2) 河川空間 【ここに記載された文章をただのお飾りにしないでください】 どう見ても治水優先で、多自然川づくりへの配慮が少ないように見える。コンクリートブロックの高水敷、水辺に近づくどころか、河川内への立ち入り禁止とばかり危険で近寄れない河川構造が続きます。 治水の重要性は川辺に住むものの最も大事な案件です。ですが、河川改修の素材はその場に合うものを選定、強度確保のためにコンクリート・ブロック・自然石等が必要であれば、それなりに深</p>	<p>川づくりに用いる素材は流域内に本来から存在するものなど、その場にふさわしいものを選定するように努めてまいります。 いただいたご意見は河川環境についての貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>

<p>く埋める 覆土をする 等工夫をして、やさしく美しい河川工事であってほしい。</p> <p>子供たちがこれまでのように川で遊ぼうとしても足場のない低水護岸に阻まれます。またブロックむき出しの河床では水草も生えません。</p> <p>温暖化抑制どころか、ヒートアイランドをおこす流水の少ない空堀川、ほんの僅かの覆土でもイネ科植物など根を張り土砂の流出を防ぎます。</p> <p>お願い：どうぞ子供たちや、散策市民を守るためにも安全を考慮した工事をしてください。少しの覆土で結構です。歩ける高水敷にしてください。</p>	
--	--

(その他)

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
36	東京都施行区間と埼玉県施行区間はどのような考え方で決められたものなのか。	柳瀬川と都県境が輻輳している区間について、河川整備の円滑な実施を図るために、昭和59年に協定を締結しました。
37	(4) 洪水時の的確な水防、警戒避難・・・ ①現地への大型掲示板（水位、警戒水位、溢水水位、時間雨量等）の設置 数百mの遠くからでも見えるようにすれば、川を見に行き行って落下するなどの事故はなくなります。	
38	②エリアメールの採用（既に入間市などでは、行っています）プル式⇒プッシュ式な情報提供 空堀川のような中小河川では、水位の上昇が早く（一般的に10m/hとされています）計画水位+余裕高0.6m=2.0mですと、雨が降り出してからわずか10分～15分で満水になります。実際に流域市民は、それを実感しております。市民が、東京都建設局のホームページを見にいても、台風時などにはアクセスが集中しつながりません。これでは、避難に間に合いません。流域市と連携して、エリアメールに情報を流してください。	雨量や河川水位の情報提供については、東京都水防災総合情報システムやTwitterで提供しており、YouTubeを活用した河川監視カメラ映像も配信しております。 いただいたご意見は、洪水による災害発生防止に関する貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。
39	p.38 第6章 総合的な治水対策の取り組み 都市整備局・下水道局とも連携していただいて、雨水貯留施設・浸透施設の普及を強力に推進をお願いします!!!	柳瀬川流域は令和3年4月に豪雨対策基本方針に基づく対策強化流域に追加されました。今後は柳瀬川流域豪雨対策計画（仮称）を策定し、各市町と連携して雨水貯留・浸透施設の設置といった流域対策をはじめとする取組を推進し、洪水対策をさらに強化してまいります。
40	P.7 狭山丘陵と柳瀬川、空堀川、奈良橋川の鳥瞰図 これは、清瀬の川物語が原典ではなく、「空堀川橋ものがたり」（平成18年3月）が原典です。	「清瀬の川物語」内において出典が明記されておりますので、整備計画での出典は「清瀬の川物語」とさせていただきます。
41	1. 流域治水の観点から整備計画を見直してほしい。1) 計画高水のピークを抑制するために。①流域での雨水貯留能力を高める。その方策とし	いただいたご意見は河川整備計画に関する貴重なご意見として、参考にさせていただきます。

<p>て、各種の貯留施設を設置。旧川敷の活用と復元。②調節池を構築してピークカットする。2) 洪水をゆっくり流す。①川幅を広げる。その上で横断面での有職分布平準化。粗度係数の増大と径深の縮小。3) 水衝部を軽減する。①落差工をなくすため、各種水制の積極的な活用。②既存蛇行の活用と直線部での拡幅部の導入。③小規模で断続的に配置された柔軟な床固めによって河床の安定化。</p> <p>2. 河川環境と生態系の改善を整備計画に生かしてほしい。1) 現状の景観と生態系を壊さないために。①事前の調査を尽くし、現状の保全および代替措置や再生を図る方法と目標を計画に反映。2) 水生動植物の多様性を確保する。①多様な流況の創出により、水生動物の生息条件を整える。②可能な限り自然河岸とし、護岸部では覆土による植生化。</p> <p>3. 親水性を向上させてほしい。1) 市民が水辺の自然に親しむために。①自然な河原の現出と安全なアクセスの確保。②河川環境（生態系保全）と公共性のピーアール。</p> <p>上の3項目（治水・河川環境・利水）は、河川本来の一体にして不可分の機能。</p> <p>柳瀬川の河床低下について。</p> <p>柳瀬川の中流域（都内）での最大の河川整備の課題であり、金山調節池構築後の台田団地前落差工より下流での河床低下は特に著しい。河床低下の原因は、洪水時における土砂収支の平衡が失われ、河床の動的な安定が保たれず、河床材の流出にある。下流域（埼玉県内）では堆積で河床上昇による内水浸水が危惧され、土砂が浚渫されると下流域からの更なる河床低下の発生が想定される。河床低下により護岸の毀損と流出 1990 年代より発生していたが、近年の洪水では頻度、規模とも大きくなっている。こうした護岸の毀損は施行中の改修工事完了区間でも起きており、既存箇所での復旧では修復できない状況と推定される。</p>	
--	--

<p>今後の整備計画においては、抜本的な見直しが必要だと考える。前記の意見は、この「抜本的な見直し」の視点を述べている。現在発生している河川の変状は、河川の自然な営為によって引き起こされているので、この「自然な営為」が発現できる見直しを切望する。</p> <p>空堀川の濁水・瀬切れについて。</p> <p>増水時を除き、志木を通じて濁水が常態化している。河川管理において「維持流量」の確保は何よりも優先されるべき状況にある。流域外からの導水も含めて「維持流量」を確保してほしい。さもなくば、河川整備を進めるほど空堀川は「死の川」になっていくと想像される。当面実現可能と想定できることは、前記意見の1. 1) ①の項目であるが、河川区域に限定することなく、流域の各市に協力を求めて「雨水貯留施設のネットワーク」を造り空堀川との接続を検討してほしい。</p> <p>「旧川敷の活用と復元」でも、貯留施設の設置や親水公園化の実現も可能である。河川整備は地域の理解と協力が求められているし、地域にとっても河川という自然環境は「街づくり」の重要な拠点になる。</p> <p>人口減少社会にあって、河川整備計画は超長期的な視点で構想していただきたい。</p>	
--	--

整理 番号	ご意見・ご提案（要旨）	回答（案）
4 2	<p>P1 11行 P22表一1内の空堀川全延長15.0kmの数字表示について</p> <p>まずお伺いたします。平成18年の四市流域連絡会で、整備計画の策定時には柳瀬川・空堀川の新合流ための用地は取得されていましたが、構造については全く見えていませんでした。平成22年具体的な図面が出され新合流点は、旧合流点から500m空堀川上流に、その間は川幅を12m拡幅され、護岸も1:3の緩傾斜となり東京都から「新柳瀬川」と命名されました。必然的に空堀川はそこで500m河川の距離が短くなります。</p> <p>また昭和40年末ごろから始まった、空堀川拡幅工事によりこれまで蛇行していた空堀川の直線化によってどのくらい短くなったのでしょうか。</p> <p>【お尋ねです】空堀川延長の実寸が知りたい。また四市それぞれの河川の長さも知りたい。法定延長とは、変更があってもそのまま15kmで通すのでしょうか？正確に表してよいものなら「変更現案」のこの機会に新河川（新柳瀬川）の名称、残り空堀川の実寸表示をお願いできませんでしょうか。</p>	<p>一級河川に指定する際には起終点を明示しており、その際の管理延長は15.0kmとしております。河川整備計画においても計画対象延長は15.0kmとしております。</p> <p>また東京都において新柳瀬川と命名した記録はありません。</p> <p>いただいたご意見は河川整備計画に関する貴重なご意見として、参考にさせていただきます。</p>
4 3	<p>P21（東京の中小河川の将来像）</p> <p>空堀川・柳瀬川は行政区間それぞれ自然環境や景観の特長があります。各市の環境にあった河川構造や環境に施工を。</p> <p>計画の段階から、地元行政、河川に係る市民団体と話し合いを持ち、治水、環境、景観共に両立できる、建設構造（設計）、使われる建設資材について話し合いを持ちたい。その河川を熟知した河川工学専門の先生方をアドバイザーとして迎えることも、悔いのない河川工事の手法かとも思います。5行目下記のようにぜひご検討賜りたくお願い申し上げます。</p>	<p>整備に当たって、河川管理上支障ない範囲で地域の意向反映に努めてまいります。</p> <p>いただいたご意見は地域や関係機関との連携に関する貴重なご意見として、参考にさせていただきます。</p>

	<p>「また、各々の川がそれぞれの地域に生きていくことを踏まえ、その地域の個性を活かしたものとする必要がある。このため、地域の人々との協力を通して、「地域に活きた親しめる川の復活」を進めるために、必要ある時にはその河川を熟知した河川工学ご専門の先生をアドバイザーとして迎え、話し合い望ましい川の姿を実現していく。」</p>	
--	---	--